

ある、^{ふゆ ひ あさ}冬の日の朝。

森は、^{もり ふ つ ゆき ま しろ}降り積もった雪で真っ白です。

お腹をすかせた^{なか いっぴき}一匹の^{すあな}きつねが、^で巣穴から出てきました。

「あ〜お腹すいた。^{なか た}なにか食べられるものがないかな・・・」

食物を探して、^{た もの さが さと ちか お}里の近くまで下りてみると、^みきつねはそこで、^みかわうそを見つけました。

かわうそは池にもぐっては、^{いけ じょうず さかな}上手に魚をとっていました。



きつねは、かわうそに^{こえ}声をかけました。

「なあなあ、かわうそどん。

オイラ^{なか}お腹がへって、もうふらふらなんだ。

オイラに、^{さかな}魚を^{すこ}少しだけ^わ分けてくれねえかな」

かわうそはおどろきました。

^{いま}今まできつねにイタズラされたり、だまされたりしたことは

あっても、^{ねが}お願いされたことは、^{いちど}一度もなかったからです

そこでかわうそは、^{ひごろ}きつねに日頃の^{しかえ}仕返しをしてやろうと

^{かんが}考えました。

「・・・そうか。わかった。ほらきつねくん、

^たいっしょに食べよう」

かわうそは、^{さかな}きつねに^わ魚を分けてあげました。



One morning in winter, the forest was very white from layers of snow that lied thick on the ground.

A fox who was hungry came out from a burrow.

“Uhhhhh, I am so hungry. Is there anything I can eat?”

The fox climbed down the mountain and arrived near the village to suddenly spot an otter.

The otter was diving in a pond catching fish very skillfully.



2 1

The fox spoke to the otter,

“Hey Otter, I am so hungry that I can barely walk properly. Would you please share some fish with me?”

The otter was shocked.

Because he had been pranked and fooled by the fox many times before, but never had been asked for help.

Then, the otter schemed a plan of revenge against the fox for what he had done to the otter.

“Right... I see. Well then, let's eat some fish together.”

The otter shared some of his fish to the fox.

